

学科名	電気通信工学科							
科目名	初等電磁気学							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年後期			
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)／必修科目(電気エネルギーコース)／必修科目(情報システムコース)							
担当者	江上 典文							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの大きさ、向き、内積がわかる。(A2) 荷電粒子間にはたらく力を求めることができる。(A2) 単純な荷電粒子分布や対称性の高い電荷分布を与えたときの電界を求めることができる。(A2) 電界中での力、仕事、エネルギー差を求めることができる。(A2) 電界と電位の関係がわかる。(A2) 							
日程と内容	9/17 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、力 9/24 仕事、エネルギー 10/1 微分の基礎 10/8 微分、積分の基礎 10/15 積分 10/22 ベクトルの演算と成分 10/29 ベクトルの内積 11/12 ベクトルの外積 11/19 電荷、クーロンの法則 11/26 電界 12/3 電気力線 12/10 電界に関するガウスの法則 12/17 電界中での仕事用 12/24 位置エネルギーと電位差 1/14 総合演習 1/21 定期試験							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	30%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの大きさ、向き、内積がわかる:達成 荷電粒子間にはたらく力を求めることができる:達成 単純な荷電粒子分布や対称性の高い電荷分布を与えたときの電界を求めることができる:達成 電界中での力、仕事、エネルギー差を求めることができる:達成 電界と電位の関係がわかる:達成 							
反省点	数学の基礎ができていないため、微積分を用いる電磁気学が理解できず、興味を持たない学生がいる。							
来年度の計画	現状では、内容があまりに多く、多岐にわたっているため、内容をさらに精査して、必要最小限のことと、それらの繋がりをより丁寧に教えるようにしたい。							
授業評価アンケートに対するコメント	昨年同様、アンケートの評価理由では「わかりやすい」との意見も多かったが、一方で、講義内容の理解の評点は平均値に留まっている。このことは、講義をよく理解できている学生も多いが、一方で理解できていない学生も同程度、存在していることを示しているため、上述したように、講義内容をさらに精査して、より丁寧に説明するよう心がけたい。							
履修登録者数	69名	定期試験 受験者数	66名	合格者数	59名	合格率	89%	